

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	小戸作業所	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 障害福祉課	評価区分	A
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A			A			1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	A			A			(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成
法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。	A	適宜制度を確認し、障害者総合支援法に基づいた事業運営を適切に行いました。内部監査を定例に行うことで、サービス管理責任者の業務及び必要書類を随時チェックする体制が確立され、法令遵守にも努めました。サービス毎にサービス管理責任者を配置したことで、利用者の意向を丁寧に聞き取り、個別支援計画書に反映することができました。		A	内部監査などのチェック体制が確立されたことで、これまで以上に適切な事業運営が行われている。また、利用者の意向を丁寧に聴きとることで、質の向上が図られている。		意見なし
利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。	A	「重要事項説明書」と「利用契約書」「個人情報使用同意書」においては、随時更新したものをお渡しし、説明したうえでそれぞれ署名捺印をいただいています。また、法改正に伴う変更等についても、その都度説明を行い、書面にて同意をいただいています。		A	各書面も適宜更新され、利用者やその家族等へ都度説明するなど、適切に行われている。		意見なし
施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があったか。	A	積極的に支援学校や相談支援事業所へ空き状況及び見学・実習の受け入れについて伝えました。感染拡大のため実習が中止になることもありましたが、時間や日数を短縮するなどして実習受け入れを行った結果、1名契約につなげることができました。広報用の新しいパンフレットも試作が完成しました。		A	広報活動に積極的に取り組むとともに、コロナ禍でも対策を講じながら実習を受け入れ、契約につなげている。		意見なし
< 課題 >		感染対策を講じながら、より多くの見学者や実習の受け入れを行い、新規利用者確保につなげる必要があります。			引き続き感染対策を講じ、相談支援事業所や支援学校と連携を進め、新規利用者の確保につなげる必要がある。		意見なし
< 改善内容 >		支援学校や関係機関に新しいパンフレットを配り、サービス内容などを知っていただくように努めます。夏休み期間に照準を合わせて実習受け入れをアピールできるように、学校などと調整を行います。			これまでの課題解決策に加えて、なお効果的な取り組みを行い、新規利用者が増えることを期待する。		意見なし
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A			A			(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況
施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	所外行事は実施できませんでしたが、散歩の回数を増やすことや手作りすごろくや体操など屋内レクリエーションにも力を入れました。		A	創意工夫を凝らし、有効に活用されている。		意見なし
施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。	A	休みが続いたり、利用日の少ない利用者には健康状態を聞き取り、取り組みやすい作業や興味のあることを提示して利用日数の増加につなげました。感染対策で休まれた方に、健康状態、1日の流れ、目標や訓練について聞き取りを行い、在宅支援に取り組ましました。		A	利用者に丁寧に聴き取りを行い、参加・利用しやすい提案を行うなど、利用促進が図られた。		意見なし
< 課題 >		定員に空きがあるため、小戸ならではの魅力をアピールし、新規利用者を確保することが必要です。			小戸作業所が利用者から選ばれるよう、作業所の魅力を効果的に発信する必要がある。		意見なし
< 改善内容 >		説明資料を作成し、新パンフレットと併せて、広報活動に活用します。			改善につながる効果的な広報活動に期待したい。		意見なし
(1-3) 利用者の満足度	A			A			(1-3) 利用者の満足度
利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。	A	年度末、利用者及び保護者を対象にサービス毎のアンケートを行いました。嗜好調査や摂取調査アンケートも実施し、給食のリエストメニューのアンケートも月1回実施しました。		A	適切に行われている。		意見なし
利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。	A	所外行事については、中止にするべきという意見が多数だったので、中止となりましたが、希望の多かった忘年会は部屋ごとに実施して好評をいただきました。毎月のリエストメニューは、アンケートに基づいて利用者の要望に順番にお応えする形をとりました。		A	アンケート結果を踏まえ、利用者ニーズに適切に対応された。		温かい食事の提供や作業以外の楽しみの提供など利用者に満足してもらい取り組みを行っている。
利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A	ご意見や困りごとの相談があった場合はその都度お話を伺いご理解を得られるように、関係法令や運営規定に基づき説明など対応をさせていただきました。		A	適切に行われている。		意見なし
アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A	窓口対応をはじめ、送迎時や面談時に本人及び家族の意向を伺い支援に活かしました。相談支援事業所とも連携をはかり、家族状況なども把握するように努めました。		A	適切に行われている		意見なし
サービスの質を向上させるため具体的な取り組みを行ったか。また、取り組みの結果、どのような効果が得られたか。	A	個々の日常生活を守ることを目的に、手指消毒やマスク着用、検温、密を避けるための時間差行動など、ご家族にも協力いただきながら感染対策をルーティン化するための取り組みを行いました。一部の方はマスク着用が困難ですが、それ以外はほぼルーティン化することができています。		A	適切に行われている		コロナ禍でも通所できるよう支援を行っている。
< 課題 >		毎年2月に年度末アンケートを実施していますが、感染が広がった時期とアンケート時期が重なったため、回収率が悪かったです。自宅待機になられる方なども想定されるため、今後は再アンケートの実施など工夫が必要です。			より多くの利用者から意向を汲みとるための工夫が必要。		意見なし

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	小戸作業所	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 障害福祉課	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】			
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)			
<改善内容>		年度末アンケート以外にも、全体的な意向把握をする機会をつくるようにします。		利用者の意向を的確に把握し、改善などを行うことで、利用者及びその家族の満足度向上、不安解消につながることを期待する。			意見なし
2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	A		A				2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】
(2-1) 経費の節減	A		A				(2-1) 経費の節減
施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。	A	換気をしながら空調を使うので電気代は上がりましたが、食洗器の効果でガス代と水道代は抑えられました。劣化したドアノブやクロージャの付け替え及び床修繕も職員が行い、経費削減に努めました。	A	感染対策を実施しつつ、経費節減を図る工夫がなされている。			意見なし
管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。	A	業者委託での契約に際し、相見積を取り安価な業者と契約いたしました。	A	引き続き経費が最小となるよう努めること。			意見なし
<課題>		建物が古く、外回りフェンスが劣化により倒壊の恐れがあるなど、修繕を要する危険箇所がまだ多数見られます。計画的に改修を行う必要があります。		計画的な改修に向け、利用者の目線から優先順位を付けること。			危険箇所近づかないよう、分かりやすい表示を行うこと。
<改善内容>		定期的な点検等を行い、可能な限り内部で修繕するようにします。内部では対応できないものについては、予算にあげるなど市と連携して進めていきます。		経費削減のため努力が行われている。現在の取り組みを続けられたい。			意見なし
(2-2) 収入の増加	A		A				(2-2) 収入の増加
収入を増加させるための具体的な方法の検討や取組みを行ったか。	A	業務継続のために、室内換気、手洗い、消毒の励行、パーテーションの設置、食堂の時間差使用、椅子の間引きなど感染対策に努めました。健康診断等で体調管理を行い、精神面のケアも行いました。2月にコロナ陽性者が出たため生活介護サービスを4日間閉所しましたが、その間健康な職員が手分けして在宅支援を行い健康観察及び情報提供に努めました。	A	適切な感染対策により、利用者が安心して利用できる環境を整えるとともに、在宅支援も実施し、具体的な取組みを行っている。			意見なし
収入の増加など取組みの効果は得られたか。	A	入院で長期欠席された方に対して、ご家族、関係機関と連携をとり、身体状況や必要な支援の把握に努め受け入れ体制を整えたことで、全日利用につなげることができました。	A	緊急事態宣言中も在宅支援に取り組むなど、きめ細かい支援がなされている。			意見なし
<課題>		受け入れ人数に余裕があるため、新規利用者の確保が必要です。感染症が広がった場合の対応について、職員にマニュアルを周知していますが、実際にマニュアル通りに動ける職員に限られています。指示を出せる人を増やす必要があります。		新規利用者を確保するためには、相談支援事業所や支援学校などとの連携を進めるとともに、効果的な新たな取組みが求められる。マニュアルを確実に実行できる体制整備が必要。			意見なし
<改善内容>		相談事業所や支援学校に新パンフレットを配布し、広報活動に力を入れます。感染時の対応について、実践に活かせるように職員間でシュミレーションを行います。		新規利用者が増加するよう、具体的な取組みと成果を期待する。感染対策を早期に実践できるよう努めてください。			意見なし
(2-3) 収支のバランスなど	A		A				(2-3) 収支のバランスなど
収支のバランスは、適切であったか。	A	感染対策が日常化し、換気扇やパーテーション、空気清浄機など必要な機器や設備を導入したことで、利用者の安心も得られ、出席率は向上しました。2月に感染が広がり生活介護サービスが4日間閉所になったため出席率は下がりましたが、在宅支援を行ったことで、収入減を抑えることができました。	A	新型コロナウイルスの影響により、難しい事業運営が求められる中、収支バランスをとうと努力された。			意見なし
費用対効果を考えながら、経費の効果的で効率的な執行が行われたか。	A	県の補助金収入などにより、コロナ禍で必要な消毒液、マスク、簡易キットを購入し、感染予防対策費用として効果的な執行ができました。その他の支出についても支障のない限り安価なものを選択購入し、効果的かつ効率的な執行を行いました。	A	適切に行われている。			意見なし
収支の内容に不適切な点はなかったか。	A	収支の内容を十分に理解し、適切に励行しました。	A	適切に行われている。			意見なし
<課題>		感染症や世界情勢などにより、食材や機器、光熱費の値上がりにどう対応していくかが課題です。		一事業所ではどうしてもない部分もあるが、できるだけ経費節減を図る工夫が必要。			意見なし

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	小戸作業所	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 障害福祉課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分								
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)			
<改善内容>		利用者の日中活動に差し支えない場所の節電に努めます。 食品の価格上昇を注視しながら、食材を変更する(例:パン食をご飯に変更など)・少しでも低価格な業者から仕入れるなど工夫し経費を抑える必要があります。			経費削減のため努力が行われている。現在の取り組みを続けられたい。		意見なし	
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み(適正性)	A			A			3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み(適正性)	
(3-1) 管理運営の実施状況	A			A			(3-1) 管理運営の実施状況	
法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。	A	専従と兼務のサービス管理責任者2名を配置し、適切な人員配置を行いました。専門性を高めるため、強度行動障害の研修に参加し体制強化に努めました。		A	適切な人員配置が行われている。		意見なし	
法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A	内部では、職員全員を対象とした虐待研修を行いました。 外部では、感染対策や食中毒予防の研修および資格取得に係る研修など、オンライン形式を中心に参加しました。		A	コロナ禍においても研修への参加機会を確保し、職員の能力向上に努めている。		意見なし	
経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。	A	施設設備の不具合については、可能な限り職員が修繕し、経費削減に努めました。 利用者の状態に応じて個別支援計画の見直しを行い、計画書に基づいた適切なサービス提供に努めました。		A	適切に行われている。		意見なし	
施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取り組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。	A	サービス毎にサービス管理責任者を配置することで、それぞれの利用者の意向や状況把握をきめ細やかに行うことができました。 職員連携を図るために所属長、サビ管、リーダーで定期的に会議を行い、問題把握及び解決に取り組みました。		A	工夫を凝らし、サービスの質の向上を図っている。		意見なし	
<課題>		それぞれの職員が担当利用者や担当企業のことで精一杯になってしまい、サービス間の連携がとりにくくなっています。			施設長などの管理監督者が適切にマネジメントするなど、サービスの質の向上に努めること。		意見なし	
<改善内容>		所属長参加のサビ管・リーダー会議を継続し、リーダー間の連携を深めます。			各リーダーが力を発揮できるよう、効果的な会議となることを期待する。		意見なし	
(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A			A			(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	
法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。	A	個別支援計画書の内容や日付、押印漏れがないように管理者をはじめ複数の職員で細かくチェックするとともに、法人の内部監査チームによる定期監査で、適正な事業運営のチェックも行いました。 事業者ハンドブックを更新し、法令の理解のため有効活用しました。		A	適切に行われている。		意見なし	
施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。	A	個人情報の取り扱いについては、契約時に利用者に同意をいただいています。ケースファイルなど個人情報が記載された書類は鍵付きのロッカーや引き出しにて保管しています。		A	適切に行われている。		意見なし	
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。	A	少しでも危険だと感じたことについては、都度ヒヤリハットに記し、職員間で情報共有することで、個々の事故防止に対する意識を高めるようにしています。		A	適切に行われている。		意見なし	
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。	A	感染対策の観点から、メンバーや集合場所を変更して消防避難訓練を実施しました。問題点などは職員間で共有し、動きの再チェックを行いました。消防設備点検で不備のあった所は早急に改善しました。 休日、夜間は警備会社に警備を委託しています。防犯カメラを有効に活用し、防犯ネットなどで情報を収集し、早めの対応を行いました。		A	適切に行われている。		意見なし	
事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。	A	事故発生時や非常災害のフローチャートや緊急時対応マニュアルは随時見直し、職員に周知徹底しています。		A	適切に行われている。		意見なし	
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。		該当なし			該当なし		該当なし	
利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平でかつ適切に実施したか。	A	利用希望者には見学及び実習を経て、本人の意向を確認したうえで利用していただくようにしています。		A	適切に行われている。		意見なし	
<課題>		引き続き法令に基づいたチェック体制の強化を行う必要があります。外回りフェンスなど建物の老朽化が進んでいるため、早急に修繕する必要があります。			引き続きチェック体制の強化や法人本部の指揮・監督等を通じて、適切な施設運営に取り組まれない。		意見なし	

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	小戸作業所	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 障害福祉課	
区 分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	
<改善内容>		内部監査の実施及び結果の周知と管理者を含めた複数でのチェックを引き続き強化していきます。老朽化している箇所は定期点検行い危険予知に努め、市と協議のうえ計画的に修繕をしていく必要があります。		計画的な修繕に向けて、利用者の目線から優先順位を付けること。		意見なし
総 合 評 価		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価ランク		A		A		
・評価できる内容		感染対策を取りながら支援学校や相談事業所からの見学者や実習生を受け入れたことで、1名の新規利用者を確保できました。また、近隣の事業所から職員の体験実習を受け入れ関係強化に努めました。就労継続支援B型で取引先企業1社を新規導入しました。		新型コロナウイルスの影響により、難しい事業運営が求められる中、様々な感染対策を実施するとともに在宅支援にも適切に取り組まれた。また、新規利用者を確保するため、見学、実習の受け入れに取り組み、成果をあげた。		意見なし
・令和3年度に改善した内容		アルコール消毒セットの部屋ごとの設置、食堂の時間差利用及び座席の間引き、事務所内のパーテーション設置など、感染対策を更に徹底しました。玄関前の点字ブロック周りを修繕しました。		これまでの感染症対策を強化することで、徹底した感染症対策を行った。		意見なし
・令和3年度に改善したことによる効果		1つの作業室で感染が広がりましたが、時間差を導入していたことにより他の部屋への影響を最小限にとどめることができました。玄関前の点字ブロック周りを修繕したことにより、転倒される利用者が減りました。		適切な対策に取り組まれ、施設の利用者にとって望ましい環境整備がなされた。		意見なし
・問題があり次年度以降改善が必要な点		相談支援事業者や支援学校、関係機関などに働きかけ、空き状況や活動内容のアピールなど広報活動に努める必要があります。感染予防のため、所外行事やカラオケ、ダンスなどのプログラムが中止になっています。縮小してでもできる形を考えていく必要があります。冷媒装置が全廃になっている空調機(4台)があり、故障した場合修繕ができないため早急に取り換えが必要です。		新規利用者を確保するためには、効果的な広報活動を進めるとともに、コロナ禍でも実施できる新たな取り組みが求められる。		意見なし
・改善方法とその時期		相談支援事業所、支援学校だけではなく市内事業所とも連携をとれるように働きかけます。令和4年度中に全廃の冷媒装置を使った空調(4台)の取り換え工事を行う予定です。		引き続き、積極的な取り組み及び計画的な修繕を実施すること。		意見なし

【記入上の留意点】

- (1) 指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただきますようお願いいたします。
(2) 水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A、B、C、D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。